

# 北東アジア準地域環境協力プログラム(NEASPEC)の 火力発電所ワークショップ(中国・貴陽)について

(社)海外環境協力センター 市村雅一  
総括研究員

## [1] はじめに

我が国を含む北東アジアの6カ国(日本、中国、韓国、北朝鮮、モンゴル、ロシア)の間では、1993年以来、北東アジア準地域環境協力プログラム(略称NEASPEC)が進行中である。同プログラムの事務局は国連アジア太平洋経済社会委員会(ESCAP)が務めているが、筆者は1999年8月から3年間、JICA環境政策専門家としてESCAPに派遣され、他の地域環境協力プログラムと併せてNEASPEC業務を担当した。ここでは、筆者が離任直前に扱った中国・貴陽市の火力発電所ワークショップを中心に、NEASPECの最近の動きを紹介したい。

## [2] NEASPECとは

NEASPECは北東アジアにおいて唯一、環境問題全般を包括的に扱うことのできる政府間(intergovernmental)環境協力プログラムとして、1993年「北東アジアの環境協力に関する第1回高級事務レベル会合」(ソウル)にて発足した。翌年の第2回会合(北京)で6カ国が揃い、1996年の第3回会合(ウランバートル)にて協力の基本的性格を定めた「フレームワーク」が採択されて以降、高級事務レベル定期会合を通じた政策対話、共通の関心領域での環境保全プロジェクト実施という2つの機能に即した整備が進んでいる。プロジェクトには、アジア開発銀行(ADB)による資金が提供され、i)石炭火力発電所の環境管理についての研修、ii)環境モニタリング手法やデータ収集・分析手順等の相互比較性向上、iii)既存発電所のばいじん対策施設の効率改善の3分野での活動が進行中である。

活動の推進には韓国が最も熱心であり、韓国電力公社中央研究所並びに国立環境研究院が第1、第2分野の活動拠点としての機能を提供しているが、日本も第2分野について「大気汚染排出源モニタリング手法の標準化・能力向上のための活動」を主導するなど積極的に支援している。第3分野については長く具体的な活動形態を模索してきたが、2002年8月ようやく各国専門家による第1回共同現場評価ワークショップを貴陽発電所で開催することができた。

## [3] 貴陽発電所のワークショップ

「北東アジア地域における石炭火力発電所の汚染削減についての現地評価ワークショップ」は2002年8月7日～9日、中国貴州省貴陽市にて

開催された。ESCAPの主催、中国国家環境保護総局(SEPA)の後援に加え、省・市政府から熱心な協力と歓迎を受けた。

このワークショップには、北東アジア5カ国の専門家(ロシアは不参加)が参加し、貴陽発電所をモデルケースとして、各国の経験に基づいたばいじん排出削減プログラム(勧告)の共同作成、上の知見に基づいた北東アジア準地域全体のばいじん対策推進のための行動計画の討議が行われた。主たるねらいは勧告そのものよりも勧告作成の過程にあり、各国の専門家が共同作業を通じてばいじん対策分野での経験と手法を交流すること、並びに準地域レベルでの課題を共有化することが重視された。また最終日には現地の技術・政策関係者を招いての公開フォーラムを併催し、更に広範な交流と経験の共有が図られた。

多分に手探りの状態であったが、各国の専門家間で環境保護意識の高揚が顕著であったこと、またフォーラムでの活発な討議状況から会議は成功裏に終了したと受け止められた。特に、共同作業を通じて「発電公社や発電所レベルにおいて、経営や発電効率、各種環境影響などを総合的に考慮して、自発的な環境対策実施計画を策定すべきである」という考え方が強調されたことは、中央主導・上意下達環境対策に慣れた現地関係者には新鮮な経験であったかも知れない。

## [4] OECCと多国間協力プログラム

本ワークショップはESCAPとSEPAの事業であるが、実施体制としてはESCAP側コンサルタントがグリーンブルー(株)の石イさん、また中国側カウンターパートはSEPA宣伝教育センターの洪少賢さんと、OECCが環境省「大気汚染固定発生源対策支援事業」を通じて築いた人脈をフルに活用させていただいた。これはOECC会員にとっては、「会員企業及びOECC事業をステップとして国際機関の事業にも進出」という可能性を示唆したものであろう。

NEASPEC「既存発電所のばいじん対策改善」プログラムに関しては、貴陽に続く第2回ワークショップの開催(ウランバートル予定)や、それからワークショップの結果を踏まえた準地域行動計画の作成等、今後の活動予定が詰まっており、ESCAPとしては信頼できる実施コンサルタントを探している途上と理解している。もしそのような機会に関心を持つ社があれば、是非ESCAP側に取り次ぎたい。(いちむら まさかず)